

## 第一歩を踏み出した 再生可能エネルギー地域間連携

～ フタミの風車「風民」完成記念公開討論、  
生活クラブ風車建設・稼働記念フォーラム ～

5月1日、仁賀保勤労青少年ホームを会場に、金浦地域飛地区に3月に完成したワタミの風車「風民」の完成を記念し、市とワタミが講演会などを行いました。

横山市長、渡邊美樹ワタミ会長ら5名により行われた基調講演後のパネルディスカッションでは、「規制緩和が進まなければ風車は普及しない」「再生可能エネルギーが見直されている今こそチャンスだ」など討論が繰り広げられました。最後には来場者からの質問時間も設けられ、普段会話するチャンスが少ないパネリストらとの交流もあり、傾聴した約400人の市民も風車への理解を深めたようでした。

5月11日には、仁賀保地域芹田地区に建設された生活クラブ風車の竣工式と稼働記念フォーラムが行われ、生活クラブ首都圏4単協（東京、神奈川、千葉、埼玉）の関係者ら約50名を含む総勢約100名が参加しました。

スマイルで行われた稼働記念フォーラムで、パネラーの横山市長は「平成22年に策定した新エネルギービジョンのアンケート結果で、導入が相応しい新エネルギーとして1位が風力発電だった。これからも積極的に風力発電の建設誘致を進める」と語ると、鈴木生協神奈川副理事が「にかほ市には4回目の訪問。身近になった『にかほ』の風で造った電気を通じ、新しい連携関係を築きたい」と話しました。前日10日には生協首都圏のデポー（小型店舗）で販売される市特産品が出荷されるなど、新たな地域間連携がスタートしました。



大勢の市民へ熱く語る渡邊美樹氏



生活クラブ風車「夢風」竣工式に  
児童による仁賀保太鼓が花を添えました

## 貫録の21連覇！いざドームへ挑む

～第83回都市対抗野球大会～

TDK硬式野球部は、5月20日に行われた第83回都市対抗野球大会秋田県大会の決勝戦（対ゴールデンリバーズ）に快勝し第2次予選東北大会（岩手県）へ駒を進めました。これで秋田大会は21連覇。3年ぶりの本大会：東京ドーム出場へ向け勢いをつけました。

※応援バスツアーのお知らせは18ページ

【2次予選の予選リーグ日程】

6月2日(土) 11:30～対 J R 東日本（岩手県営球場）  
3日(日) 11:30～対 須賀川クラブ（花巻球場）  
4日(月) 9:00～対 オール江刺（花巻球場）



『行くぞ！ 東京ドーム』

## 駆け抜ける喜び、風を全身で感じて

～ 小・中学校春の大運動会 ～



熱のこもった応援が繰り広げられた（象潟小）

4月下旬から5月上旬にかけて市内8つの小・中学校において運動会が行われました。天候不良のため順延などもありましたが、象潟小学校では運動会が始まると元気な声がグラウンド一杯に響き渡り、ゴール前には我が子の勇姿をカメラに納めようとする保護者で埋め尽くされました。

徒競走や綱引きなど多くの競技種目のなかで、ひと際盛り上がりを見せたのが応援合戦。それぞれのチームが一致団結し創意工夫を凝らした応援に観客席からは大きな拍手と歓声が上がりました。

## 湿原に春を知らせる炎と煙…

～ 冬師湿原の野焼き ～

5月17日に冬師湿原で恒例行事の野焼きが行われました。野焼きは、害虫駆除や山火事の防止を目的に昭和20年ごろから行われており、今年は冬師集落と上坂集落の住人など45名が参加しました。

枯れ草などに火を入れる作業が始まると、パチパチと音を立てて炎が燃え広がり、辺りは煙に包まれました。正午すぎには火が消え、約20畝を焼きました。湿原の様々なところから煙や炎があがると、『鳥海山と野焼き』の珍しい光景を写真に納めようと、多くのカメラマンも駆け付け、思い思いに撮影を楽しんでいました。



冬師湿原に穏やかに炎が燃え広がる

## 草木も背筋も伸びる

～ 中島台レクリエーションの森の山開き ～

5月19日、中島台レクリエーションの森のシーズン到来にあわせ、山開きが行われました。

セレモニー終了後には、市内外からの観光客約80人が、観光案内人によるブナ林や湿原の魅力などの説明を受け、散策を楽しみました。

幹周り7.62mで日本一の奇形ブナ「あがりこ大王」の前では、観光客が足を止めてその迫力に見入っていました。散策後には漁協女性部象潟支部が振る舞う海老汁を味わい、心だけでなくお腹も満たされた参加者らは、満足げな表情を浮かべていました。



中島台の新緑で心も体もリフレッシュ